



# 3月園だより

2021年3月  
尚徳福祉会  
沼袋西保育園

新型コロナウイルスの拡がりに不安を感じる日々をお過ごしのことと思います。園は皆さまのご協力のおかげで一年間、休園することなく運営をさせていただいております。今後も保育園でできる限りの対策を行いながら、一日でも早い事態の収束を祈る毎日です。

さて、今年度も最終の月となりました。一年前の子どもたちの姿を思い返し、一人一人の表情を改めて見ると、自信とたくましさを感じられます。本年度もあと少し、子どもたちは進級・入学への期待に胸を膨らませ過ごしています。子どもたちの期待が大きな意欲につながるようクラスでも準備を進めていきます。6日には「卒園を祝う会」があり一番のお兄さんお姉さんとして頑張ってくれた、ゆり組さんと過ごせるのもあとわずかとなります。お別れ遠足、お別れ会と保育園生活最後の行事で楽しい思い出を心に刻んで、新しい学年への一歩を踏み出して欲しいと思います。



## ☆3月の予定☆

- 2日(火) 避難訓練
- 3日(水) ひなまつりの会
- 6日(土) 卒園を祝う会
- 9日(火) 幼児身体計測
- 10日(水) 乳児身体計測
- 11日(木) 0歳児健診
- 19日(金) 幼児お別れ遠足
- 25日(木) 0歳児健診
- 26日(金) お別れ会(幼児)

※1日・8日・15日の各月曜日、英語であそぼう

## ☆4月の主な予定☆

- 1日(木) 入園進級を祝う会
- 2日(金) 避難訓練
- 6日(火) 幼児身体計測
- 12日(月) 春の健診(幼児)・0歳児健診
- 13日(火) 乳児身体計測
- 22日(木) 春の健診(乳児)・0歳児健診
- 28日(水) 子どもの日の会(幼児)

※12日・19日の各月曜日、英語であそぼう(予定)

## ☆お知らせ・お願い☆

○日頃から感染予防にご協力いただき、誠にありがとうございます。引き続きマスクの着用、手指消毒、検温、体調管理をよろしくお願いいたします。また、園内の滞在時間の短縮にご協力いただきお迎え後は速やかに降園をお願いいたします。

○3/6(土)は「卒園を祝う会」を園庭にて執り行います。雨天時はホールで行います。

○ご家族でPCR検査を受けられる方がいる場合は園にお知らせくださいますようお願いいたします。

○子どもや職員にコロナ感染者が出た場合は、一部休園又は休園になることをご承知おきください

○来園する業者さん、保育参加される保護者さん等、お子さんの送り迎え以外に園内に滞在される方には「新型コロナウイルス問診票」の記入をお願いしております。

○3/22(月)より移行保育を行います。新しい保育室で過ごし、生活の流れの変化に少しずつ慣れていくようにします。5歳ゆり組さんはホールで学校組として過ごします。詳しくは後日配布するお手紙でご確認ください。

# 父親の子育て参加は、「子ども」「夫婦」そして「自分」のためにもプラスになる



## 子育て参加は、子どものためにも夫婦にも自分にもいいこと

子どものためにも、夫婦関係のためにも、お父さん自身のためにも、ぜひ子育てには積極的にかかわってください。

幼児期は体を目いっぱい動かしたい時期ですが、いまの子どもたちは外で思いっきり遊ぶ機会が少ないため、欲求不満になって反抗的になることが多くなっています。ですから休日だけでもお父さんが子どもを外に連れ出して、体をいっぱい使った遊びをさせてください。公園でサッカーをしたり、自転車の練習など活発な活動をします。家の中にいても、運動不足や冒険心への欲求不満は解決しないので、できるだけ外へ連れ出してあげてください。

## 子どもと遊んでリフレッシュ いい仕事ができるようになる

仕事で疲れていて、子どもと遊ぶところではないと感じているお父さんもいるでしょう。しかし仕事は忙しくても、どこかで自分の心と体をリフレッシュしなければ、長つづきしません。いい仕事もできません。

赤ちゃんの相手はたいへんかもしれませんが、幼児期になってくると、子どもの相手をするのがリフレッシュになります。子どもを自転車に乗せて出かけて、ドングリを拾ったり、野原で鬼ごっこをして駆け回ったりしたときに、子どもがすごく楽しい顔をしていたということがリフレッシュになるのです。

リフレッシュとは、ふだんやっている仕事とは違うことをやるものです。デスクワークをしている人は体をいっぱい使うとリフレッシュしますし、お客さんの相手をして疲れている人は、子どもを相手に遊ぶと、気持ちの切りかえができます。

## お母さんの育児負担を減らすことで夫婦の信頼性が高まる

最近は外で遊ぶことが苦手で、子どもが早くテレビゲームをできるようになってくれないかな、と思っているお父さんもいる時代です。テレビゲームをやるなら、家族でわいわいと体を動かして楽しめるようなゲームソフトで遊んでもいいですね。

主婦の友社 3~6歳能力を伸ばす 個性を光らせる  
東京大学名誉教授 汐見 稔幸

でもやはり、子どものためにもお父さんのためにも、自然の中で遊んだほうがいいと思います。家でごろ寝してリフレッシュではなく、子どもが小さいときは、いっしょに何かをやることでリフレッシュする方法を工夫してください。

子どもがお父さんと体を使って思いっきり遊ぶようになれば、お母さんの育児負担も減ります。

それになんといっても、お父さんが子育てを一生懸命にやっている、夫婦間の信頼性は高くなります。子育てはひとりではたいへんだけれど、夫婦でいっしょにできるなら、精神的にとてまラクになるのです。

## お父さんの相手をしてくれるのも幼児期だけ

子どもが「お父さんっていいなあ」「お父さんってすごい」と思ってくれるのは、幼児期しかありません。「パパ、パパ」と言って、一生懸命に慕ってくれるのは幼児期が最後です。

幼児期に子どもと関わりを持たずに過ごし、小学生になったときに「そろそろ大きくなったから」と子どもとつきあえるようになる、というのは幻想です。小学生になると親より友だちと遊びたがりますし、特に幼児期にかかわっていない父親とは、子どもは遊びたがらないでしょう。

「子どもっていいな」「この子はおれの子なんだ。生まれてきてくれてありがとう」と実感できるのは、子どもとふれ合って、楽しい体験をしたときですが、そういう時期はいまをのがすとほとんどありません。

小学3年生にもなると、「遊びに行こう」と誘っても、「いいよ、お父さんとお母さんで行っておいでよ」と、よっぽどおもしろいことでもなかったらついてこなくなります。子どもが成長している証拠なのですがさびしくなります。子どもと体ぐるみで思い出がつかれるのは、4歳から7歳くらいまでです。

短いものなのです。